

2019 年キャンパスアジアプログラム

A セメスターソウル大学留学報告書

教養学部教養学科地域文化研究韓国朝鮮研究コース 3 年 高濱秀帆

1. 自己紹介

初めまして、教養学部教養学科地域文化研究韓国朝鮮研究コース 3 年の高濱秀帆と申します。先日 2019 年 3 月から 2020 年 2 月までの 1 年のソウル大学の留学を終えましたので、今回のレポートでは前回の続き、2019 年 9 月から 2020 年 2 月までの報告をしたいと思います。尚前回のレポートで説明した内容（留学手続き、履修登録等）は今回割愛させていただきます。

2. 受講科目

2 学期、私が履修した科目は『初級中国語 1』、『韓国語の語彙と表現』、『韓国語と韓国文化』、『北朝鮮学概論』の 4 つです。以下授業内容や感想を述べたいと思います。

『初級中国語 1』・・・1 学期に中国の友達がたくさんできて、自分以外中国人で遊ぶような事も多々あり、ちょうど中国音楽に興味が始めたので、履修することに決めました。授業はピンインの読み方から始まり、最後はペアで 1 分半程度の会話文を作り発表しました。履修者の中には高校で中国語を勉強した人もいましたが、日常的に漢字を使う日本人のメリットを活かして、授業進度についていくことができました。

『韓国語の語彙と表現』・・・この授業は韓国人学生に向けたもので、より正確な韓国語表現や馴染みの薄くなっていく漢字に対して、深く考察していく授業でした。評価は指定された本を読んでその考察レポートと、中間・期末のテスト、授業最初に配布される漢字語リストを使って自習したもので行われました。国語国文学の授業とあって、韓国人でさえ日常的に使わない表現等も学ぶことができ勉強になりました。

『韓国語と韓国文化』・・・この授業は交換留学生や正規留学生に向けた授業で、授業は英語で行われました。数回の授業で 1 つの韓国に関するテーマを扱う形で、韓国の宗教、言語、伝統芸能、建築、現代芸能等を学びました。毎回のテーマごとに習熟度を確認する小テストと学期中間にグループプレゼンテーションをし、学期末にファイナルレポートを提出しました。授業時間以外にも週末に希望者を募り、

ハングル博物館や景福宮訪問、映画鑑賞、韓国の酒を造る方の講演等、様々なイベントを行い、韓国に対する理解が深まりました。

『北朝鮮概論』・・・なかなか日本では北朝鮮に関する授業を受ける機会が少ないため、この授業を取ることに決めました。毎授業扱われるテーマが異なり、北朝鮮の政治から経済、軍隊、教育、対外政策、地理、歴史等を網羅的に学習しました。ほとんどの授業で実際の北朝鮮の様子を捉えたビデオを視聴し、よりリアルに北朝鮮を感じることができました。また、学期中間で北朝鮮にある開城工業団地で実際に働いていた人が、そこでの生活を講演してくれたのですが、今まで北朝鮮に行ったことがある人をあまり見たことがない私にとってとても新鮮でした。

3. 1年の留学を通した変化

ソウル大での1年の生活を通して、痛切に感じたのは努力の大切さでした。生まれてからこれまで人並みに努力をした経験がない私にとって、ここで見聞きしたことは衝撃的でした。これからその経緯を述べたいと思います。

ソウル大で一番仲良くなった友達は2人いるのですが、1人が中国3番目の大学に通っていて。今はソウル大大学院に通う中国人で（以降便宜上Aと呼ぶ）、もう一人がソウル大の文系の看板学部に通っている韓国人（B）です。A、Bとは毎週一緒に遊んだり時には旅行に行ったりして、12月が過ぎようとしていた頃、前に述べた英語の授業で韓国の熾烈な受験戦争についてレポートを書くことにした私はBにまずインタビューをしました。まず前提知識として、韓国の入試方式は日本のような大学別の試験は無く、センター試験のような全国統一試験（スヌン）をもとに合否が決まります。また日本の推薦入試に準ずる、高校の内申や自己紹介書、校内外活動記録も判断材料に含めた入試形式（スシ）がソウル大の場合だと2019年の時点で8割近くになります。Bはスシ形式でソウル大に合格したのですが、そのためにBが用意した内申は最高の1.0、これは高校3年間のテスト全てで学年全体の4%以内であったことを意味します。毎朝6時半に起き12時20分に寝るまで休む暇なく勉強する生活を3年もの間続けていたBの話聞いて驚いて言葉を失ったのを覚えています。

Bの話聞いたあと、好奇心からAにも話を聞いてみました。Aは上海出身なのですが、一般入試の前に特別入試という省で上位5人が選ばれる試験に合格し上海1番の大学に入学しました。Aも朝から晩まで勉強をしていて、4ヶ国語を流暢に話し、現在もなお専攻である国際関係のみならず数学や経済も勉強している姿に衝撃を受けました。

2人の話を聞いたあと YouTube や直接友達から、韓国での就職準備の話を聞いたのですが、どの人も就職が難しいから資格を取らなければならない、大学で良い成績を取らないといけない、インターンをして実務経験を積まないといけない、こういった内容が大半でした。

この一連の経験は今までのりくらしと生きてきた私にとって非常に刺激の強いものでした。隣の国では時間を惜しみながら努力をしているのだから、私も努力しようという思いが生まれるようになりました。そして普段、長期休みは長ければ1ヶ月以上の海外旅行をしていたのですが、今回の春休みは遊びを少し抑えて中国語の勉強に時間を割くことに決めました。勉強が習慣になってなかったため、最初は辛かったですが、やる気が起きないときは YouTube でもう勉強している韓国人のドキュメンタリーを見てモチベーションを維持していました。現在は HSK という中国語の検定の最上級取得に向けて勉強中ですが、目標達成後も他の分野の勉強も今後頑張ろうと思います。

4. ソウルのおすすめ飲食店

今学期はほぼ毎日クラスメイトやスポーツ仲間と一緒にキャンパス内外の美味しいお店巡りをしました。前回のレポートではソウル大学駅前にある、シャロスキルと呼ばれるエリアのご飯屋とカフェを紹介しましたが今回はパワーアップして、新しくシャロスキルに出来た飲食店と、シャロスキル以外のソウルにある筆者おすすめ飲食店を紹介したいと思います。

팔덕식당 (パルドクシクタン)

シンチョン駅から徒歩5分のこのお店は豚の背中の肉ともやしとエリンギ等を甘辛いソースで煮込んだ양푼등갈비가絶品です。辛さは3段階に分けられていて、個人的に辛さが一番低いものを選択することをおすすめします。寒い日に行くとカイロを配ってくれたり、サービスでお餅を入れてくれたり、写真をお願いすると店員



の方が被っていた帽子を被せてくれたり、サービスは韓国一なので、韓国語に自信が無い方も是非一度足を運んでみてください。

(←柔らかいお肉が美味しい 양푼등갈비)

박명주브라더 (パクミョンジュブラザー)

去年シャロスギルに新しく出来た超人気店で、毎晩店の外には待機している人を見ることができます。イタリアと韓国料理の合体版のような、鶏肉とパスタをピリ



辛のトマトソースの中で煮込んだ이태리 치킨스튜がおすすめです。

(←ピリ辛ソースが癖になる이태리 치킨스튜)

라면모토 (ラーメンもと)

長い韓国生活で久しぶりにつけ麺を食べたい、そんな時にぴったりのつけ麺屋さんです。注文は入口入ってすぐの券売機で行うので、韓国語を離せない方も安心です。

카도야라면 (カドヤラーメン)

ソウル大入口5番出口すぐのこのお店は本格的なラーメンを食べることができます。筆者のおすすめは味噌ラーメンです。

Eggdrop

ソウル大駅前に新しくできた、ふわふわの卵を使ったサンドイッチが看板商品の有名チェーン店です。4000～5000ウォンの手頃な価格で、朝食には十分な量だと思います。

옐로우버터드림 (イエロウバタードリーム)

シャロスギルにあるこじんまりとしたカフェで、居心地がいいですが、大人数で行くと席がない可能性もあります。私はここで人生で初めてパブロバというお菓子を食べたのですが、食感がとても不思議でとても美味しかったことを覚えています。

할랄가이즈 (ハラルガイズ)

ハラルの人でも食べれる料理を提供するお店です。野菜とチキンと米を混ぜた料

理で、お好みで辛いソースを追加できますが、追加しすぎには注意してください(友達は追加しすぎたようで辛そうにしていました)。ソウルでも東京と同じように、ハラル表示のある店どころか、豚を使っていない店を探すのがなかなか大変なので、イスラム教の友達と遊ぶときは事前にハラルの店がどこにあるか確認しておくと思います。

계절밥상 (ケジョルパプサン)

バイキング形式のチェーン店です。いろんな種類の料理をたくさん食べたい時におすすめです。価格は安くはないですが、ご飯からデザートまで全てここで済ませられるので、何か特別な日に行くといいと思います。

교대이층집 (キョデイチュンチプ)

価格は安いところに比べるとそこそこしますが、美味しいサムギョプサルを食べられる有名チェーン店です。客がととても多く非常にガヤガヤしていて正面の友達と話すのでさえ一苦労だったので、そこは注意してください。食後には無料で美味しい牛乳アイスクリームが食べられます。



카페미엘 (カフェミエル)

シャロスキルにあるカフェでイチゴを使ったデザートが有名です。ストロベリーティーはほんのり甘く見た目もいいのでおすすめです。

(←甘すぎないので食後にも簡単に平らげられます。)

천이오겹살 (チヨニオギョプサル)

ホンデ駅から歩いていける、少しローカル色の強いオギョプサル屋です。ローカルの人が多く、英語メニューが無いので、韓国語必須だと思いますが、安い値段で美味しいお肉を食べられるのでおすすめです。

5. ソウル近郊の2大遊園地

週末といえば、やはり大学構内から離れて遊園地に行きたくなると思います。そこ



で今回は、ソウルにある2大遊園地（ロッテワールドとエバーランド）を実際に行った私が比較をしようと思います。まず場所ですが、ロッテワールドはチャムシル駅すぐでソウル大からは1時間弱の距離にあります。続いて、エバーランドはソウル近郊のヨンイン市にあり大学からは2時間かかります（交通費はたったの片道3200ウォン）。さて本題の中身ですがざっくり言うと、ロッテワールドは東京ディズニーランドタイプ（スリルのある乗り物が少なく園内の雰囲気を楽しむ）で、エバーランドは富士急ハイランドタイプ（スリルのある乗り物が多いがその代わり園内の雰囲気はそれほど）です。ロッテワールドの特徴としては、室内・室外エリアがあり天候が悪い時でも楽しめます。エバーランドの特徴としては2018年1月の時点で世界一高い木造ジェットコースター、Tエクスプレスがあります。このジェットコースターは今まで日本全国の数々の絶叫ジェットコースターに乗ってきた私ですら楽しめたので、皆さんにぜひ乗ってもらいたいです。ここまで2つの遊園地を比較してきましたが、共通して言えるのは日本の遊園地に比べると入場料が安く（その分質は日本の方が高い）、ソウルから往復1000円以下で日帰りで行けるので、時間に余裕がある人は是非韓国の遊園地を一度体験してみてください。

（上段：エバーランド、下段：ロッテワールド）

6. 最後に

この1年の留学で掛け替えのない友達と一生忘れない経験をして、想像していた以上に有意義な留学となりました。これがきっと最初で最後の留学になると思いますが、留学先としてソウル大学を選んで本当によかったと思います。これからはこの留学を通して感じたことをもとに残りの人生がより良いものとなるよう生きていこうと思います。

(ソウル大生から愛される野良猫です。いつもだいたい此処にいます。→)

